

大阪における夜間経済の指標化について

2018年

一定の仮定の下で推計を行っていることから、結果については、相当な幅を持ってとらえる必要があります。

海外での夜間経済推計の事例

海外事例における夜間経済の推計条件

- ロンドン、オーストラリアでは、夜間経済を以下の条件で推計している。

項目	ロンドン	オーストラリア
対象とする夜間の時間帯	18時～翌朝6時	18時～翌朝6時
夜間の直接消費の対象となる産業	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間経済の産業は、以下の区分で示されている。 専門的財務サービス、施設管理、物流・配達、宿泊・飲食、情報通信、小売、医療、娯楽 	<ul style="list-style-type: none"> ・コア産業、ノンコア産業、サプライ産業に区分している。 ・コア産業は、主に夜間に消費される産業が対象。 <p>コア産業：酒類小売、娯楽、飲食</p>
推計方法	<ul style="list-style-type: none"> ・公表データや既存研究の成果を基に推計 ・直接効果だけでなく波及効果も推計していることから、産業連関分析、またはそれに類似した方法で推計しているものと考えられる。 ※夜間比率の設定については言及無し 	<ul style="list-style-type: none"> ・推計対象となる地方自治体（LGA）の関連データをオーストラリア統計局より入手し分析。 ・産業分類は、オーストラリア・ニュージーランド標準産業分類（ANZSIC）に準拠。 ※夜間比率の設定については言及無し
直接消費が波及する関連産業	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い産業への波及効果を推計している（産業連関分析により全産業への波及効果を分析しているものと考えられる）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンコア産業は、夜間が中心というわけではないが、夜間にもサービスが供給されている産業。 ・サプライ産業は、コア・ノンコア産業のサプライチェーンに関連する産業。 <p>ノンコア産業：小売、宿泊、運輸、広告、等 サプライ産業：卸売、コンテンツ制作、食品製造、等</p>

ロンドンの夜間経済規模

表：ロンドンの産業別夜間経済規模（単位：百万 £）

	Sector	Direct economic impact	Indirect economic impact	Induced economic impact	Total economic impact
専門家、財務サービス	Professional and financial services	3,195	1,490	869	5,554
施設管理	Facilities management	1,411	623	377	2,412
物流・配達	Logistics and deliveries	3,790	2,754	1,214	7,759
宿泊・フードサービス	Accommodation & food	1,383	666	380	2,429
情報通信	Information & comms	2,632	1,039	681	4,352
小売	Retail	1,035	531	291	1,857
医療・ソーシャルワーク	Health & social work	3,198	1,360	846	5,404
エンターテインメント・レクリエーション	Entertainment & recreation	795	309	205	1,309
	Total	21,995	11,834	6,278	40,106
		直接効果	1次波及効果	2次波及効果	合計
	円換算（1 £ = 150円）：	3.3兆円	1.8兆円	0.9兆円	6.0兆円
	ロンドンのGDP（約55兆円）に対する割合	6.0%	3.3%	1.6%	10.9%

出典) LONDON' S 24 HOUR ECONOMY The Economic Value of London's 24 Hour Economy

ロンドンの夜間経済規模（雇用効果）

表：ロンドンの夜間経済による産業別の雇用者数

Sector	Jobs in London night-time economy	
農業、林業、漁業	Agriculture, forestry and fishing	600
鉱業、採石業	Mining and quarrying	250
製造業	Manufacturing	19,035
電力、ガス、メンテナンス	Electricity, gas, air conditioning supply	0
上下水、廃棄物処理	Water supply, sewerage, waste	1,176
建設業	Construction	23,287
卸売、小売、修理	Wholesale, retail and repair	59,248
交通、倉庫	Transport and storage	107,136
宿泊、フードサービス	Accommodation and food services	97,125
情報通信	Information and communication	54,558
金融、保険	Financial and insurance	15,086
不動産	Real estate	5,895
科学技術専門サービス	Professional, Scientific and Technical	59,803
管理・サポートサービス	Admin and support services	62,150
行政、防衛	Public admin and defence	45,342
教育	Education	15,840
医療、ソーシャルワーカー	Health and social work	101,282
芸術、娯楽	Arts, entertainment and recreation	46,592
その他サービス	Other services	7,350
家政婦・家事代行	Household as employers	1,541
Total		723,296

Table 1. Workers in the night-time economy.^a

シドニーの夜間経済規模

表：シドニーの夜間経済の分析結果（コア産業のみ）

Table 23: Core NTE Sydney

Sydney	2009	2011	2012	2013	2014	2015	Change 2014 to 2015	
							No.	Percent
事業所数	Establishments (number)							
Drink	416	429	562	547	575	531	-44	-8%
Entertainment	835	874	838	783	824	823	-1	0%
Food	2,729	3,066	3,290	3,148	3,354	3,254	-100	-3%
Total	3,980	4,369	4,690	4,478	4,753	4,608	-145	-3%
従業者数	Employment (employees)							
Drink	4,311	3,988	4,804	5,179	5,287	5,147	-140	-3%
Entertainment	6,736	6,573	6,786	6,913	7,282	7,200	-82	-1%
Food	17,299	16,651	18,337	18,256	19,302	20,064	762	4%
Total	28,346	27,212	29,927	30,348	31,871	32,411	540	2%
売上高	Sales turnover (\$m)							
Drink	445	422	535	586	631	597	-34	-6%
Entertainment	940	886	962	1,006	1,014	1,139	125	11%
Food	1,458	1,447	1,666	1,687	1,881	1,900	20	1%
Total	2,843	2,756	3,162	3,280	3,526	3,637	111	3%

Source: OrtusER/Australian Bureau of Statistics, 2017, W1/S17

円換算（1 \$ = 80円）： 0.3兆円

シドニーのGDP（約30兆円）
に対する割合 1.0%

オーストラリアの夜間経済推計で設定しているコア産業

表：オーストラリアの夜間経済規模推計におけるコア産業

Table 24: Core NTE activities

Sector	ANZSIC	Activity	
Food	4511	Cafes and Restaurants	カフェ、レストラン
	4512	Takeaway Food Services	持ち帰り飲食サービス
Drink	4123	Liquor Retailing	酒小売
	4520	Pubs, Taverns and Bars	パブ、酒場、バー
Entertainment	551*	Motion Picture and Video Activities*	映画、ビデオ
	900	Creative and Performing Arts Activities	クリエイティブ・パフォーマンスアート
	911	Sports and Physical Recreation Activities	スポーツ・運動系レクリエーション
	912	Horse and Dog Racing Activities	競馬、ドッグレース
	913	Amusement and Other Recreation Activities	アミューズメント、その他娯楽
	920	Gambling Activities	ギャンブル
	4530	Clubs (Hospitality)	クラブ
9534	Brothel Keeping and Prostitution	売春	

Source: OrtusER. * For historical reasons, ANZSIC 551 (Motion Picture and Video Activities) is included within the Core NTE definition for City of Sydney, but is included in the Non-Core NTE definition in other LGAs.

オーストラリアの夜間経済推計で設定しているノンコア産業

表：オーストラリアの夜間経済規模推計におけるノンコア産業

Table 25: Non-Core NTE activities

Sector	ANZSIC	Activity	
Care	771	Public Order and Safety Services	公共秩序・警備
	840	Hospitals	病院
Cultural	601	Libraries and Archives	図書館、資料館
Design	692	Architectural, Engineering and Technical Services	建築、エンジニア、技術サービス
Education	821	Adult, Community and Other Education	社会人教育、コミュニティ、その他教育
Food Retailing	411	Supermarket and Grocery Stores	スーパー、食品売り場
	412	Specialised Food Retailing	食品小売
Hospitality	4400	Accommodation	宿泊
Infrastructure	29	Waste Collection, Treatment and Disposal Services	ごみ収集、ごみ処理、廃棄
	751	Central Government Administration	中央政府サービス
	753	Local Government Administration	州政府サービス
	772	Regulatory Services	地方政府サービス
	9531	Laundry and Dry Cleaning Services	ランドリー、クリーニング
Promotion	694	Advertising Services	広告
Research	695	Market Research and Statistical Services	市場調査
Other Retail	422	Electrical and Electronic Goods Retailing	電気製品小売
	424	Recreational Goods Retailing	娯楽用品小売
	425	Clothing, Footwear and Personal Accessory Retailing	衣類、靴、装飾品小売
	426	Department Stores	百貨店
	427	Pharmaceutical and Other Store Based Retailing	薬局、他の小売店
Transport	462	Road Passenger Transport	道路交通
	472	Rail Passenger Transport	鉄道交通
	482	Water Passenger Transport	水運交通
	9533	Parking Services	駐車サービス

Source: OrtusER

指標化の考え方等の詳細

夜間経済の指標化の考え方

- 夜間経済の規模を推計する上では、「夜間の直接消費の対象となる産業」「対象となる夜間の時間帯」「産業ごとの売上の夜間比率」「直接消費が波及する関連産業」を設定する必要がある。

夜間経済の規模（日本人の消費を含む）

夜間の直接消費
(飲食、小売、娯楽産業など)

【夜間に消費される産業の売上の集計】

経済センサスのデータより、
夜間に消費される産業の売上を集計

※産業小分類ベース

対象産業を設定し集計



【売上に占める夜間比率】

集計対象とした産業について、
夜間の売上比率を設定

夜間時間帯を定義

産業ごとに売上の夜間比率を設定

関連産業への波及
(農漁業、製造業、物流など)

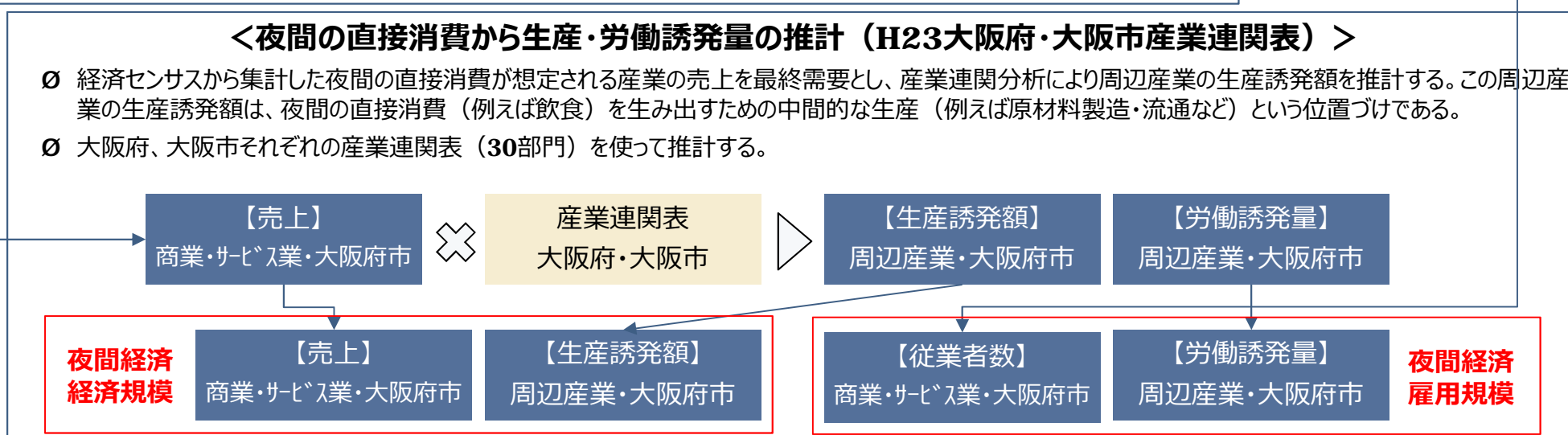
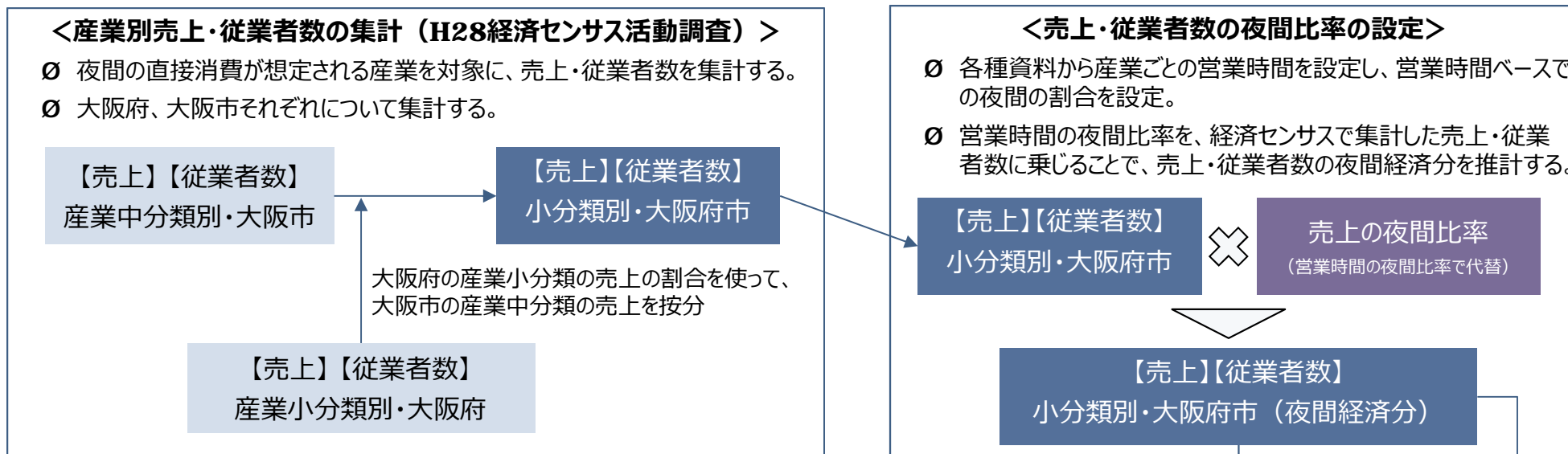
【関連産業への波及を推計】

産業連関分析により、
夜間の直接消費が生み出す
関連産業への経済効果を推計

対象産業を設定

夜間経済規模の推計方法

- 以下の流れで大阪府・大阪市の夜間経済規模を推計する。



夜間経済規模の推計における条件設定

- 以下の条件で大阪府・大阪市の夜間経済規模を推計する。

●各項目の設定条件

項目	本業務での設定
対象とする 夜間の時間帯	18時～翌朝5時 （【5:00～17:59】【18:00～20:59】【21:00～23:59】【0:00～4:59】の4時間帯の内訳も推計）
夜間の直接消費の 対象となる産業 （H28経済センサスから 産業別の売上を集計）	<p>・夜間の直接消費の対象となる産業は以下のとおりに設定。</p> <p>小売業：561 百貨店・総合スーパー、569 その他の各種商品小売業 585 酒小売業、589 その他の飲食料品小売業</p> <p>宿泊業：751 旅館・ホテル、752 簡易宿所、753 下宿業、759 その他の宿泊業</p> <p>飲食業：761 食堂・レストラン、762 専門料理店、763 そば・うどん店、764 すし店、 765 酒場、ビヤホール、766 バー、キャバレー、ナイトクラブ 767 喫茶店、769 その他の飲食店</p> <p>771 持ち帰り飲食サービス業、772 配達飲食サービス業</p> <p>娯楽業：801 映画館、802 興行場・興行団、805 公園・遊園地、806 遊戯場 809 その他の娯楽業</p> <p>注）数字はH28経済センサスにおける産業分類番号（小分類）</p>
産業ごとの売上の 夜間比率	<p>・小売業については、H26商業統計表立地環境特性別統計編より産業別の営業時間を設定。</p> <p>・飲食業については、生活衛生関係営業経営実態調査（厚生労働省）より産業別の営業時間を設定。</p> <p>・その他の産業については産業ごとに営業時間の仮説をおき設定。</p> <p>※詳細は後述</p>
直接消費が波及する 関連産業 （産業連関分析で推計）	<p>・大阪府・大阪市の産業連関表（30部門）で規定されている全産業</p> <p>※ただし、直接消費の対象とする産業分類が含まれる「商業」「対個人サービス」については、生産誘発量を計上すると一部が直接消費と重複計上となることが懸念されるため、計上の対象外とする。</p>

夜間の直接消費の対象として設定する産業

- 夜間の直接消費の対象となる産業は以下のとおりに設定。
- オーストラリアでの推計におけるコア産業と比べると、百貨店、その他の各種商品小売業、宿泊業を追加しており、より広い消費を対象にしている。

●夜間の直接消費の対象となる産業（詳細）

集計対象	産業No	産業名称
	I	大分類I 卸売業，小売業
	I56	中分類 56 各種商品小売業
	I560	560 管理，補助的経済活動を行う事業所（56各種商品小売業）
●	I561	561 百貨店，総合スーパー
●	I569	569 その他の各種商品小売業（従業者が常時50人未満のもの）
	I58	中分類 58 飲食料品小売業
	I580	580 管理，補助的経済活動を行う事業所（58飲食料品小売業）
	I581	581 各種食料品小売業
	I582	582 野菜・果実小売業
	I583	583 食肉小売業
	I584	584 鮮魚小売業
●	I585	585 酒小売業
	I586	586 菓子・パン小売業
●	I589	589 その他の飲食料品小売業
	N	大分類N 生活関連サービス業，娯楽業
	N80	中分類 80 娯楽業
	N800	800 管理，補助的経済活動を行う事業所（80娯楽業）
●	N801	801 映画館
●	N802	802 興行場（別掲を除く），興行団
	N803	803 競輪・競馬等の競走場，競技団
	N804	804 スポーツ施設提供業
●	N805	805 公園，遊園地
●	N806	806 遊戯場
●	N809	809 その他の娯楽業

集計対象	産業No	産業名称
	M	大分類M 宿泊業，飲食サービス業
	M75	中分類 75 宿泊業
	M750	750 管理，補助的経済活動を行う事業所（75宿泊業）
●	M751	751 旅館，ホテル
●	M752	752 簡易宿所
●	M753	753 下宿業
●	M759	759 その他の宿泊業
	M76	中分類 76 飲食店
	M760	760 管理，補助的経済活動を行う事業所（76飲食店）
●	M761	761 食堂，レストラン（専門料理店を除く）
●	M762	762 専門料理店
●	M763	763 そば・うどん店
●	M764	764 すし店
●	M765	765 酒場，ピヤホール
●	M766	766 バー，キャバレー，ナイトクラブ
●	M767	767 喫茶店
●	M769	769 その他の飲食店
	M77	中分類 77 持ち帰り・配達飲食サービス業
	M770	770 管理，補助的経済活動を行う事業所（77持ち帰り・配達飲食サービス業）
●	M771	771 持ち帰り飲食サービス業
●	M772	772 配達飲食サービス業

注）集計対象とした産業（小分類）が含まれる産業（中分類）及び産業（大分類）を表記

産業ごとの夜間比率の設定方法

- 各産業の夜間比率の設定方法は以下のとおり。

●産業ごとの売上の夜間比率の設定方法

産業分類No	産業小分類	夜間比率の設定方法
I561	561 百貨店, 総合スーパー	小売業は、「平成26年商業統計表（二次加工統計表）立地環境特性格別統計編（小売業）第3表」（経済産業省）より、各産業の開店時刻、閉店時刻の分布から推計。 立地特性から、駅周辺型商業集積地区、市街地型商業集積地区の2つの区分を大阪市、住宅地背景型商業集積地区、ロードサイド型商業集積地区の2つを大阪市以外と想定し集計。
I569	569 その他の各種商品小売業（従業者が常時50人未満のもの）	
I585	585 酒小売業	
I589	589 その他の飲食料品小売業	
M751	751 旅館, ホテル	宿泊業は、24時間営業と想定し、各時間帯の時間の割合をそのまま設定。
M752	752 簡易宿所	
M753	753 下宿業	
M759	759 その他の宿泊業	
M761	761 食堂, レストラン（専門料理店を除く）	「生活衛生関係営業経営実態調査」（厚生労働省）より、各産業の開店時刻、閉店時刻の分布から推計。 立地条件から、商業地区を大阪市、住宅地区、郊外の幹線道路沿いの2つの区分を大阪市以外と想定し集計。
M762	762 専門料理店	
M763	763 そば・うどん店	
M764	764 すし店	
M767	767 喫茶店	
M765	765 酒場, ビヤホール	夜間時間帯のみ営業と想定し、各時間帯の時間の割合をそのまま設定。
M766	766 バー, キャバレー, ナイトクラブ	
M769	769 その他の飲食店	「761 食堂、レストラン」と同様の割合を設定。
M771	771 持ち帰り飲食サービス業	
M772	772 配達飲食サービス業	24時間営業と想定し、各時間帯の時間の割合をそのまま設定。
N801	801 映画館	「生活衛生関係営業経営実態調査」（厚生労働省）より、開店時刻、閉店時刻の分布から推計。
N802	802 興行場（別掲を除く）, 興行団	
N805	805 公園, 遊園地	テーマパークを想定し、営業時間を9:00-20:00と設定。（大阪市、大阪市以外共通）
N806	806 遊戯場	パチンコ店を想定し、営業時間を10:00-23:00と設定。（大阪市、大阪市以外共通）
N809	809 その他の娯楽業	カラオケ店を想定し、営業時間を11:00-5:00と設定。（大阪市、大阪市以外共通）

産業ごとに設定した夜間比率

- 各産業に設定した夜間比率は以下のとおり。

●産業に設定した夜間比率

産業分類No	産業小分類	時間帯別比率									
		大阪市					大阪市以外				
		5:00-17:59	18:00-20:59	21:00-23:59	0:00-4:59	夜間合計	5:00-17:59	18:00-20:59	21:00-23:59	0:00-4:59	夜間合計
I561	561 百貨店, 総合スーパー	64.4%	21.3%	12.6%	1.7%	35.6%	63.8%	20.8%	14.0%	1.4%	36.2%
I569	569 その他の各種商品小売業 (従業者が常時50人未満のもの)	71.7%	22.0%	5.8%	0.5%	28.3%	71.6%	21.9%	6.4%	0.1%	28.4%
I585	585 酒小売業	73.2%	21.0%	5.4%	0.5%	26.8%	75.3%	20.8%	3.7%	0.2%	24.7%
I589	589 その他の飲食料品小売業	68.5%	16.2%	7.5%	7.7%	31.5%	68.6%	15.6%	7.3%	8.6%	31.4%
M751	751 旅館, ホテル	54.2%	12.5%	12.5%	20.8%	45.8%	54.2%	12.5%	12.5%	20.8%	45.8%
M752	752 簡易宿所	54.2%	12.5%	12.5%	20.8%	45.8%	54.2%	12.5%	12.5%	20.8%	45.8%
M753	753 下宿業	54.2%	12.5%	12.5%	20.8%	45.8%	54.2%	12.5%	12.5%	20.8%	45.8%
M759	759 その他の宿泊業	54.2%	12.5%	12.5%	20.8%	45.8%	54.2%	12.5%	12.5%	20.8%	45.8%
M761	761 食堂, レストラン (専門料理店を除く)	74.2%	15.7%	10.1%	0.0%	25.8%	74.0%	16.3%	9.7%	0.0%	26.0%
M762	762 専門料理店	56.9%	20.0%	23.1%	0.0%	43.1%	60.9%	19.2%	19.9%	0.0%	39.1%
M763	763 そば・うどん店	70.8%	23.6%	5.1%	0.5%	29.2%	71.4%	22.6%	5.6%	0.5%	28.6%
M764	764 すし店	51.0%	27.3%	19.3%	2.4%	49.0%	55.3%	26.6%	17.0%	1.1%	44.7%
M767	767 喫茶店	82.4%	10.3%	7.3%	0.0%	17.6%	87.6%	7.7%	4.6%	0.0%	12.4%
M765	765 酒場, ビヤホール	0.0%	27.3%	27.3%	45.5%	100.0%	0.0%	27.3%	27.3%	45.5%	100.0%
M766	766 バー, キャバレー, ナイトクラブ	0.0%	27.3%	27.3%	45.5%	100.0%	0.0%	27.3%	27.3%	45.5%	100.0%
M769	769 その他の飲食店	74.2%	15.7%	10.1%	0.0%	25.8%	74.0%	16.3%	9.7%	0.0%	26.0%
M771	771 持ち帰り飲食サービス業	74.2%	15.7%	10.1%	0.0%	25.8%	74.0%	16.3%	9.7%	0.0%	26.0%
M772	772 配達飲食サービス業	54.2%	12.5%	12.5%	20.8%	45.8%	54.2%	12.5%	12.5%	20.8%	45.8%
N801	801 映画館	58.6%	21.6%	16.3%	3.4%	41.4%	58.6%	21.6%	16.3%	3.4%	41.4%
N802	802 興行場 (別掲を除く), 興行団	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	37.5%
N805	805 公園, 遊園地	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%
N806	806 遊戯場	61.5%	23.1%	15.4%	0.0%	38.5%	61.5%	23.1%	15.4%	0.0%	38.5%
N809	809 その他の娯楽業	38.9%	16.7%	16.7%	27.8%	61.1%	38.9%	16.7%	16.7%	27.8%	61.1%

3. 夜間経済規模の推計

夜間経済規模の推計ケース

- 夜間経済規模は、前章で整理した条件に基づく【基本ケース】に、夜間比率や対象産業の条件を変更した参考ケース3つを加えた計4ケースについて推計した。

●夜間経済規模の推計ケース

ケース	設定条件
基本ケース	・前章で設定した条件に基づく推計（設定条件はP19参照）
参考ケース①	・基本ケースの設定条件から、大阪市以外の小売業・飲食業の夜間比率を低めに設定したケース
参考ケース②	・夜間の直接消費の対象となる産業から宿泊業を除外し、その他の条件は基本ケースと同様としたケース
参考ケース③	・夜間の直接消費の対象となる産業から宿泊業を除外し、更に基本ケースの設定条件から大阪市以外の小売業・飲食業の夜間比率を低めに設定したケース

基本ケース：大阪府・大阪市の夜間経済規模・雇用規模

- 大阪府の夜間経済規模は、約**1.9兆円**、大阪市は**1.0兆円**。

		大阪府	大阪市	大阪市以外
経済規模	直接効果 (商業・サービス業)	1.6 兆円	0.9 兆円	0.7 兆円
	1次波及効果 (その他産業)	0.4 兆円	0.2 兆円	0.2 兆円
	合計 (直接+1次波及)	1.9 兆円	1.0 兆円	0.9 兆円
雇用規模	直接効果 (商業・サービス業)	19.1 万人	9.3 万人	9.8 万人
	1次波及効果 (その他産業)	1.9 万人	1.0 万人	1.0 万人
	合計 (直接+1次波及)	21.0 万人	10.2 万人	10.8 万人

注) 直接効果は、夜間経済対象産業の売上に自給率を乗じた生産額。1次波及効果は直接効果に逆行列係数を乗じた各産業の生産誘発額。

大阪府のGDPは、約**39.1兆円** (H27、名目)
 夜間経済(粗付加価値額)は、**1.1兆円**
 GDPに占める夜間経済(粗付加価値額)の割合は**2.8%**
 (参考) GDPに占める夜間経済(生産誘発額)の割合は**4.9%**

大阪市のGDPは、約**19.1兆円** (H26、名目)
 夜間経済(粗付加価値額)は**0.6兆円**
 GDPに占める夜間経済(粗付加価値額)の割合は**3.1%**
 (参考) GDPに占める夜間経済(生産誘発額)の割合は**5.2%**

注) 大阪府、大阪市のGDPは、公表されている最新時点の年次。

基本ケース：産業別推計結果

●夜間経済規模の推計結果（産業別）

部 門 名	大阪府		大阪市		大阪市以外	
	(億円)	(人)	(億円)	(人)	(億円)	(人)
01 農 林 水 産 業	26	480	11	110	16	370
06 鉱 業	1	3	1	2	0	1
11 飲 食 料 品	197	1,140	83	541	114	599
15 織 維 製 品	7	130	4	95	3	35
16 パ ル プ ・ 紙 ・ 木 製 品	23	174	7	66	16	107
20 化 学 製 品	25	41	16	28	9	13
21 石 油 ・ 石 炭 製 品	34	7	3	4	31	3
22 プ ラ ス チ ッ ク ・ ゴ ム	16	78	5	33	11	46
25 窯 業 ・ 土 石 製 品	9	44	5	27	4	17
26 鉄 鋼	3	5	2	3	2	2
27 非 鉄 金 属	1	2	1	1	0	1
28 金 属 製 品	22	228	13	146	9	82
29 は ん 用 機 械	1	8	0	4	1	4
30 生 産 用 機 械	2	11	1	5	1	7
31 業 務 用 機 械	1	10	1	5	1	5
32 電 子 部 品	4	29	3	26	1	3
33 電 気 機 械	1	7	0	4	1	3
34 情 報 ・ 通 信 機 器	0	3	0	2	0	1
35 輸 送 機 械	1	4	0	0	1	3
39 そ の 他 の 製 造 工 業 製 品	43	451	25	268	18	183
41 建 設	164	1,315	80	736	84	579
46 電 力 ・ ガ ス ・ 熱 供 給	270	324	156	204	114	120
47 水 道	150	282	76	157	74	125
48 廃 棄 物 処 理	138	965	74	510	64	455
51 商 業	3,452	32,974	1,486	12,754	1,966	20,221
53 金 融 ・ 保 険	222	960	118	481	104	480
55 不 動 産	362	552	189	273	173	279
57 運 輸 ・ 郵 便	390	2,680	187	1,281	203	1,399
59 情 報 通 信	491	1,660	263	852	228	808
61 公 務	14	66	7	32	7	35
63 教 育 ・ 研 究	40	316	20	160	19	156
64 医 療 ・ 福 祉	2	17	1	9	1	8
65 そ の 他 の 非 営 利 団 体 サービス	37	315	22	198	14	117
66 対 事 業 所 サービス	874	6,815	458	3,317	416	3,499
67 対 個 人 サービス	12,135	157,748	7,099	79,928	5,037	77,821
68 事 務 用 品	31	0	16	0	15	0
69 分 類 不 明	71	51	35	26	36	25
合 計	19,263	209,896	10,466	102,285	8,796	107,611

※1 「商業」「対個人サービス」は経済センサスから産業小分類ごとの売上を集計した値に夜間時間の比率を乗じ夜間の売上にした上で、産業連関表の自給率を乗じた値。
その他の産業は、「商業」「対個人サービス」の売上を最終需要とする産業連関分析から算出される一次波及効果（生産誘発額）。

※2 「商業」「対個人サービス」は経済センサスから産業小分類ごとの従業者数を集計した値に夜間時間の比率を乗じた値。
その他の産業は、「商業」「対個人サービス」の売上を最終需要とする産業連関分析から算出される労働誘発量。

基本ケース：時間帯別推計結果（経済規模）

●夜間経済規模の推計結果（時間帯別）

経済規模

（億円）

	昼間	夜間（合計）	夜間（内訳）		
	5:00-17:59	18:00-4:59	18:00-20:59	21:00-23:59	0:00-4:59
大阪府	27,860	19,263	9,401	6,581	3,281
大阪市	14,419	10,466	4,981	3,611	1,874
大阪市以外	13,441	8,796	4,420	2,970	1,407

	昼間	夜間（合計）	夜間（内訳）※対昼夜計		
	5:00-17:59	18:00-4:59	18:00-20:59	21:00-23:59	0:00-4:59
大阪府	59%	41%	20%	14%	7%
大阪市	58%	42%	20%	15%	8%
大阪市以外	60%	40%	20%	13%	6%

	昼間	夜間（合計）	夜間（内訳）※対夜間計		
	5:00-17:59	18:00-4:59	18:00-20:59	21:00-23:59	0:00-4:59
大阪府	59%	41%	49%	34%	17%
大阪市	58%	42%	48%	35%	18%
大阪市以外	60%	40%	50%	34%	16%

注）昼間時間帯の数値は、夜間と同条件で推計した昼間時間帯分の結果（夜間の直接消費となる産業の昼間分の売上とその売上を最終需要とする産業連関分析から算出される一時波及効果（生産誘発額））

基本ケース：時間帯別推計結果（雇用規模）

●夜間経済規模の推計結果（時間帯別）

雇用規模

(人)

	昼間	夜間（合計）	夜間（内訳）		
	5:00-17:59	18:00-4:59	18:00-20:59	21:00-23:59	0:00-4:59
大阪府	285,564	202,844	93,854	68,604	40,387
大阪市	130,652	99,878	44,610	34,554	20,714
大阪市以外	154,912	102,966	49,244	34,049	19,673

	昼間	夜間（合計）	夜間（内訳）※対昼夜計		
	5:00-17:59	18:00-4:59	18:00-20:59	21:00-23:59	0:00-4:59
大阪府	58%	42%	19%	14%	8%
大阪市	57%	43%	19%	15%	9%
大阪市以外	60%	40%	19%	13%	8%

	昼間	夜間（合計）	夜間（内訳）※対夜間計		
	5:00-17:59	18:00-4:59	18:00-20:59	21:00-23:59	0:00-4:59
大阪府	58%	42%	46%	34%	20%
大阪市	57%	43%	45%	35%	21%
大阪市以外	60%	40%	48%	33%	19%

注）昼間時間帯の数値は、夜間と同条件で推計した昼間時間帯分の結果（夜間の直接消費となる産業の昼間分の従業者数とその産業の売上を最終需要とする産業連関分析から算出される一時波及効果（雇用誘発量））であり、対象地域の全従業者数ではない。

参考ケース①（大阪市以外の小売業・飲食業の夜間比率を低めに設定）： 大阪府・大阪市の夜間経済規模・雇用規模

- 大阪市以外の夜間比率を低めに設定した参考ケースの推計結果は、大阪府の夜間経済規模は約1.7兆円、大阪市は1.0兆円。基本ケースと比べると大阪市以外の経済規模・雇用規模が小さくなる。

		大阪府	大阪市	大阪市以外
経済規模	直接効果 (商業・サービス業)	1.4 兆円	0.9 兆円	0.6 兆円
	1次波及効果 (その他産業)	0.3 兆円	0.2 兆円	0.1 兆円
	合計 (直接+1次波及)	1.7 兆円	1.0 兆円	0.7 兆円
雇用規模	直接効果 (商業・サービス業)	17.1 万人	9.3 万人	7.8 万人
	1次波及効果 (その他産業)	1.7 万人	1.0 万人	0.7 万人
	合計 (直接+1次波及)	18.8 万人	10.2 万人	8.6 万人

注) 直接効果は、夜間経済対象産業の売上に自給率を乗じた生産額。1次波及効果は直接効果に逆行列係数を乗じた各産業の生産誘発額。

大阪府のGDPは、約39.1兆円（H27、名目）
 夜間経済（粗付加価値額）は1.0兆円。
 GDPに占める夜間経済（粗付加価値額）の割合は**2.6%**
 （参考）GDPに占める夜間経済（生産誘発額）の割合は**4.3%**

大阪市のGDPは、約19.1兆円（H26、名目）
 夜間経済（粗付加価値額）は0.6兆円。
 GDPに占める夜間経済（粗付加価値額）の割合は**3.1%**
 （参考）GDPに占める夜間経済（生産誘発額）の割合は**5.2%**

注) 大阪府、大阪市のGDPは、公表されている最新時点の年次。

参考ケース②（宿泊業を除外）： 大阪府・大阪市の夜間経済規模・雇用規模

- 宿泊業を除外した参考ケースの推計結果は、大阪府の夜間経済規模は約**1.8兆円**、大阪市は**0.9兆円**。基本ケースと比較すると大阪市の経済規模・雇用規模が小さくなる分、大阪府全体の規模も小さくなる。

		大阪府	大阪市	大阪市以外
経済規模	直接効果 (商業・サービス業)	1.4 兆円	0.7 兆円	0.7 兆円
	1次波及効果 (その他産業)	0.3 兆円	0.2 兆円	0.2 兆円
	合計 (直接 + 1次波及)	1.8 兆円	0.9 兆円	0.9 兆円
雇用規模	直接効果 (商業・サービス業)	18.0 万人	8.5 万人	9.6 万人
	1次波及効果 (その他産業)	1.8 万人	0.8 万人	0.9 万人
	合計 (直接 + 1次波及)	19.8 万人	9.3 万人	10.5 万人

注) 直接効果は、夜間経済対象産業の売上に自給率を乗じた生産額。1次波及効果は直接効果に逆行列係数を乗じた各産業の生産誘発額。

大阪府のGDPは、約**39.1兆円**（H27、名目）
 夜間経済（粗付加価値額）は**1.0兆円**。
 GDPに占める夜間経済（粗付加価値額）の割合は**2.6%**
 （参考）GDPに占める夜間経済（生産誘発額）の割合は**4.6%**

大阪市のGDPは、約**19.1兆円**（H26、名目）
 夜間経済（粗付加価値額）は**0.5兆円**。
 GDPに占める夜間経済（粗付加価値額）の割合は**2.6%**
 （参考）GDPに占める夜間経済（生産誘発額）の割合は**4.7%**

注) 大阪府、大阪市のGDPは、公表されている最新時点の年次。

参考ケース③（宿泊業を除外、さらに大阪市以外の小売業・飲食業の夜間比率を低めに設定） ：大阪府・大阪市の夜間経済規模・雇用規模

- 大阪府以外の夜間比率を低めに設定し、宿泊業を除外した参考ケースの推計結果は、大阪府の夜間経済規模は約1.6兆円、大阪府は0.9兆円。基本ケースと比べると、大阪府、大阪府以外ともに経済・雇用規模が小さくなる。

		大阪府	大阪府	大阪府以外
経済規模	直接効果 (商業・サービス業)	1.3 兆円	0.7 兆円	0.5 兆円
	1次波及効果 (その他産業)	0.3 兆円	0.2 兆円	0.1 兆円
	合計 (直接+1次波及)	1.6 兆円	0.9 兆円	0.7 兆円
雇用規模	直接効果 (商業・サービス業)	16.1 万人	8.5 万人	7.6 万人
	1次波及効果 (その他産業)	1.6 万人	0.8 万人	0.7 万人
	合計 (直接+1次波及)	17.6 万人	9.3 万人	8.3 万人

注) 直接効果は、夜間経済対象産業の売上に自給率を乗じた生産額。1次波及効果は直接効果に逆行列係数を乗じた各産業の生産誘発額。

大阪府のGDPは、約39.1兆円（H27、名目）

夜間経済（粗付加価値額）は0.9兆円。

GDPに占める夜間経済（粗付加価値額）の割合は2.3%

（参考）GDPに占める夜間経済（生産誘発額）の割合は4.1%

大阪府のGDPは、約19.1兆円（H26、名目）

夜間経済（粗付加価値額）は0.5兆円。

GDPに占める夜間経済（粗付加価値額）の割合は2.6%

（参考）GDPに占める夜間経済（生産誘発額）の割合は4.7%

注) 大阪府、大阪府のGDPは、公表されている最新時点の年次。

大阪夜間経済指標検討会について

- 公益財団法人大阪観光局が目指す大阪の「**24時間観光都市**」実現にあたり、大阪府、大阪市と幅広く協議・検討するため、「大阪夜間経済指標検討会」を設置。
- 検討会において、夜間経済の指標化に関する事項について、有識者を交えながら、平成**29年9月**の設置から、3回にわたり、協議・検討を重ねた。

機関	構成員
公益財団法人 大阪観光局	常務理事 大阪観光局アドバイザー（大阪大学大学院経済研究科講師）
大阪府	大阪府府民文化部都市魅力創造局企画・観光課長
大阪市	大阪市経済戦略局地域経済戦略担当課長